

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	乳癌 Trastuzumab Emtansine(T-DM1)療法						登録日	2014年6月5日							
疾患名	乳癌		臨床区分		抗癌剤適応分類		1クール期間	21日							
診療科名	乳腺・内分泌外科		<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験		<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他		実施回数	/回							
Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日					注意コメント			
1	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		day1	—	—	—	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを 装着すること		
							●	—	—	—	—	—		—	—
								—	—	—	—	—		—	—
2	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン	90min	●	—	—	—	—	—	1)初回投与の忍容性があれば、投与時間30minまで短縮可能 2)インラインフィルター使用すること。 3)ブドウ糖溶液など他剤との混合は行わないこと。		
	カドサイラ点滴静注用	3.6	mg/kg					—	—	—	—	—		—	—
	注射用水	1	管					—	—	—	—	—		—	—
3															

備考欄

--

文献

Trastuzumab Emtansine for HER2-Positive Advanced Breast Cancer

減量・中止基準

【減量方法】 参考：がん化学療法レジメンハンドブック第7版 p321-322

1段階減量：3.0mg/kg

2段階減量：2.4mg/kg

3段階減量：投与中止

【LVEF低下による休薬および中止基準】

40%≤LVEF≤45%：ベースラインからの絶対変化<10%→継続

40%≤LVEF≤45%：ベースラインからの絶対変化≥10%→休薬

LVEF<40%：休薬

症候性うっ血性心不全：中止

【AST、ALT上昇による休薬、減量および中止基準】

ASTまたはALT>3×ULN（施設基準上限値）かつT-Bil>2×ULNの場合は中止

Grade2 (>3~5×ULN)：減量せず継続

Grade3 (>5~20×ULN)：休薬し、Grade2に回復後、1段階減量して再開可能

Grade4 (>20×ULN)：中止

【高ビリルビン血症による休薬、減量および中止基準】

ASTまたはALT>3×ULN（施設基準上限値）かつT-Bil>2×ULNの場合は中止

Grade2 (>1.5~3×ULN)：休薬し、Grade1に回復後減量せずに再開可能

Grade3 (>3~10×ULN)：休薬し、Grade1に回復後、1段階減量して再開可能

Grade4 (>10×ULN)：中止

【血小板減少による休薬および減量基準】

Grade3 (2.5~5万/mm³)：休薬し、Grade1以下(7.5万/mm³以上)に回復後、減量せずに再開可能

Grade4 (<2.5万/mm³)：休薬し、Grade1以下に回復後、1段階減量して再開可能